

Functioning In Business

busi·ness \ biz-nēs, -nez\ n, f pl: roles, 1990-1991
b: an immediate task or objective: MURKIN c. a
particular field of endeavor 2 n. a usu. commer-
cial or mercantile activity engaged in as a
means of livelihood: TRADE, LINE b: a commercial
or sometime an industrial enterprise...



学習ガイド

www.dyned.com

目次

はじめに	3
コースの概要	4
学習項目	5
学習記録の保存	8
学習の秘訣	9
語学学習の原則	10
協力	11

はじめに

ファンクショニング・イン・ビジネスによろこそ！今や、日本は世界をリードする経済大国。どんな企業に携わっていても、英語でビジネスをすることを避けては通れません。ダイネドのファンクショニング・イン・ビジネスは、ビジネス英語を上達させたいと思っている方にぴったりの、インタラクティブ中級ビジネス英会話コースです。

このコースは、第一に「依頼」「拒否」「提案」「確認」など、目的を成し遂げる時に使う表現を学ぶ事に重点を置き、あるビジネスマンがアメリカに出張するという設定で、ビジネスには欠かせない重要な英語を紹介していきます。プレゼンテーションにはビジネスを成功させる鍵となる言い回しや語彙が数多く盛り込まれ、質問に答えることで理解度をチェックしながら、着実にビジネス英会話の能力を身につけていきます。次に重点を置いているのは「聞き取り」で、全体の意味と細かい内容の両方を聞き取る事を目標としています。第三に重要なのはビジネス用語を身につける事です。このコースで使われる単語はストーリーの中で紹介される業界以外でも頻繁に使用される単語ばかりです。第四に音声認識機能を使用して、スピーキング力を向上させる事を狙いとしています。ビデオの中の会話を実際に声に出して言う練習をする事で、各レッスンで紹介される重要なビジネス表現を習得する事ができます。

ダイネド独自のインタラクティブなプログラムによって、学習者は自分のペースで学習できます。学習中の英語は何度も繰り返し聞き、また自分の声を録音してネイティブと比較してみてください。わからない時は日本語訳を聞いたり、英文を表示することもできます。文法や語彙についての詳しい説明は用語表を利用してください。

このコースは、自己学習用として単独で、あるいはダイナミック・ビジネス・イングリッシュ等の他のダイネドコースウェアと併用してご利用頂けます。このコースを英語教材の一環として授業に取り入れることができるよう教師用ガイドをご用意いたしました。ガイドにはワークシートと指導案も盛り込まれています。又、このコースには、マスタリーテストも併設されています。通常テストはロックされているので、レコードマネージャー（賞を受賞）を使用してロック解除します。詳細はレコードマネージャーガイドをご覧ください。

コースの概要

レッスン	トピック	学習内容
イントロダクション	ストーリー、主な登場人物、会社等の紹介	自分の経歴や会社等について述べる
1. チェックイン	チャールズ・ブレイク、ホテルにチェックイン バリエーション：銀行の客	確認する、申し出る、断る、依頼する
2. アポイントメント	ブレイクが電話でマイク・エプスティンにアポイントメントを取る バリエーション:アポイントメントを取る	同意する、確認する、挨拶する、申し出る、依頼する、提案する
3. 予定の確認	エプスティンが上司に予定の確認をし、会議の詳細に関してチェックする バリエーション：アポイントメントの確認	締めくくる、確認する、反対意見を述べる、意見を述べる、申し出る、依頼する、提案する
4. 紹介	エプスティンがシャーリー・グラムにブレイクを紹介する バリエーション：自己紹介、人を捜す	挨拶する、紹介する、話をさえぎる
5. ビジネスランチ	ランチミーティングで問題点を確認し合う バリエーション：交渉する	同意する、明確にする、確認する、辞退する、申し出る、約束する、限定する
6. 意見の不一致	エプスティンとグラムが困難な決定を下す バリエーション：選択する	賞賛する、反対意見を述べる、意見を述べる
7. 連絡を保つ	エプスティンとブレイクは状況を把握し、連絡を保つことにする バリエーション：辞退する	承諾する、落胆を表す、意見を述べる、招待する、約束する、限定する、断る、依頼する
8. 新しい顧客	ブレイクはアポイントメントを取ってあったが、当人不在の為、代理人に会う バリエーション：依頼する	承諾する、謝罪する、紹介する、依頼する、提案する
9. 交渉	ブレイクはフェデラルモーターズのデイブ・ゴメスといくつかの点を交渉する バリエーション：2つの結末	承諾する、明確にする、確認する、申し出る、約束する、依頼する、引き延ばす

学習項目

レッスンはいくつかの学習項目に分かれています。言葉と内容が良く理解できるまでそれぞれの項目を何度もやってみてください。

プレゼンテーション

ビデオを中断することなくストーリーを紹介するセクションです。各レッスンのあらすじをよく把握してください。

インタラクティブ・リスニング

プレゼンテーションで紹介したストーリーを、テキスト表示や翻訳ボタン等を使用して学習します。各レッスンで重要となる表現が、どのような機能を持つかが所々で表示されます。理解力チェックで内容を把握しているかどうか確認しますが、何回か同じ所を学習すると以前と違う質問が出る事があるので、注意して聞いてください。



バリエーション

ここでは、重要な表現が他の状況でどのように使用されるかを、異なった設定を使って学習します。

バリエーションは、プレゼンテーション形式とインタラクティブ形式で紹介されます。まず最初にダイアログを一通り見てください。次に音声認識機能を使い、登場人物の一人になって実際にその場面にいるつもりでビジネス会話をしてみてください。音声認識を使うことによって理解力を向上させるだけでなく、スピーキング力の向上も狙いとしています。

ファンクショナル・ディクテーション

このレッスンでは、ストーリーの中の重要な語句に焦点を当て学習します。

面に表示された番号をクリックしてください。最初にビデオの一部が紹介され、次にディクテーションの画面に変わります。所々空欄がある文が画面に表示され、読み上げられます。文中の空欄に当てはまる単語を画面上部にある単語の中から見つけ、クリックしてください。次にその単

語の入る空欄をクリックしてください。空欄に選んだ単語が入ります。間違いに気が付いた時は、別の単語をクリックして単語を入れ替えてください。各文の番号をクリックすると、何回でも聞くことができます。

表示された文が全部完成したら、“SCORE”をクリックすると各文が読み上げられ得点が表示されます。その際、別の色で表示された単語は間違いです。確認してください。

appreciate	as soon as	by the way	can I	cash
chance	could I	could	is that okay	let me know
personal	possible	that	use	would

1

Can I ----- my American Express card for **that**?

2

----- this ----- check from my London Bank?

3

If you -----,
I ----- it.

4

Oh, -----, there's a ----- I'll be staying one more
day, so I might be leaving on Saturday. -----?

?

score ▶

Exit

🔊 🔇

⏮ ⏪ ⏸ ⏩ ⏭

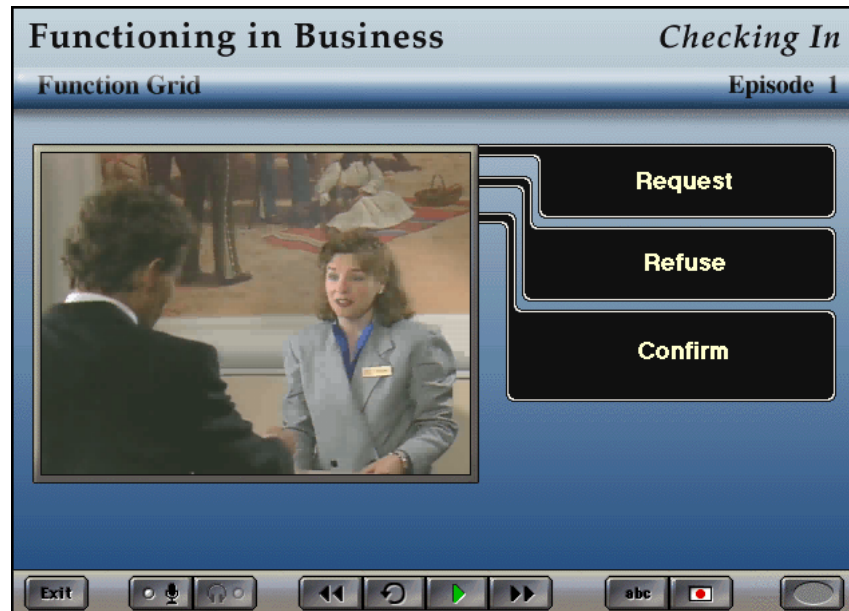
abc

🌙

得点が 65%以下の場合はもう一度やってみたいかどうか聞かれます。得点が 65%以上の場合は、各文をもう一度聞いて、正しい単語を入れ直してください。間違いを直したら“END”をクリックしてディクテーションを終了させてください。ひとつのディクテーションが終了すると、同じディクテーションにもう一度挑戦するか、他のディクテーションに進むか聞かれます。

機能別表現集（ファンクション・グリッド）

ここでは、依頼の仕方、確認の方法、反対意見の述べ方など、ビジネスに関する重要な表現を学習します。



ボックスをクリックし例を見てください。＜？＞をクリックすると質問がでます。紹介される場面がどの「機能」をはたしているか正しい答えをクリックしてください。

学習記録の保存

インタラクティブ・リスニングをやってみましょう。

(注) プログラムの始め方が分からない時は、ユーザーズ ガイドをご覧ください。
次の要領でやってみてください。

1. 各文ごとに一時停止ボタンをクリックしてください。緑色の矢印が点滅した状態でプログラムは一時停止します。
2. 繰り返しボタンをクリックしてください。同じ英文をもう一度聞くことができます。
3. 翻訳ボタンをクリックしてください。日本語訳を聞くことができます。
4. abc ボタンをクリックしてください。英文テキストが表示されます。
5. ハイライトされた単語をクリックして用語表を参照してください。
6. 緑の矢印が点滅している一時停止ボタンをクリックしてください。点滅がとまり、次の文に進みます。

(注) コースウェアになれるまでは、気がつかないうちにプログラムが止まった状態になっている事があります。一時停止ボタンが点滅していると、プログラムは一時停止しています。プログラムを再開し先に進むには、点滅している一時停止ボタンをクリックしてください。質問されている時は、回答をクリックしてもプログラムを再開し、先に進むことができます。繰り返しボタン、翻訳ボタン、abc ボタン等をクリックすると、プログラムは自動的に一時停止の状態になります。

7. 前記のステップを各文でやってみてください。前の文に戻るには、巻き戻しボタンをクリックしてください。レッスンの最初に戻るには、一旦レッスンを終了させてください。
8. インタラクティブ・リスニングの中の質問には時間制限があります。残り時間は、コントロールバーの右側に表示されます。

(注) 回答に時間が必要なときは一時停止ボタンでプログラムを停止するか、繰り返しボタンを使って質問をもう一度聞いてください。

9. 初めの部分の文を何度か聞いた後に、今度は自分で言ってみましょう。巻き戻しボタンを使って最初まで戻ってください。
10. 録音ボタンを使って自分の声を録音してみてください。録音が終わったら、音声再生ボタンを押して声を聞いてみてください。次に繰り返しボタンを押してネイティブの声と自分の声を比較してみてください。このステップはヒアリングとスピーキングに効果的な練習です。文が長すぎて全部言えない時は、最初か最後の部分を繰り返してみてください。それでも難しく言えない時は、状況をつかめるまで前後の文を何度も聞いてください。

学習の秘訣

- 最も効果的な学習をするには、まず初めにプレゼンテーションを細部にとらわれず一通り見て、おおまかな内容を把握してください。内容が大体把握できたら、次のインタラクティブ・リスニング、バリエーション、ファンクショナル・ディクテーション、ファンクション・グリッドと進んでください。
- ファンクショニングインビジネスでは、ビジネス表現を学ぶだけでなく、ビデオを通してボディランゲージや表情、声の調子なども学習できます。アメリカのビジネスにおけるマナー等もビデオから学び取るようにしてください。
- 他のダイナエドソフトウェア同様、コントロール機能を使い自分の学習したい項目をいつでも簡単に選択できます。又、同じ文を何度も繰り返し聞くことが可能です。詳しい語句の説明が見たいときは用語表をご覧ください。
- 学習中は、20〜30分ごとに休憩をとるようにしてください。休憩は目の為には絶対必要ですし、頭を休めることでより効果的な学習ができるでしょう。又、学習した事を着実に身につけるには復習が大切です。時間をかけて各レッスンを何度も練習、反復してください。
- 音声認識機能は、最新の画期的な機能です。正確な発音を指導するという事に関しては、まだ技術的に限界がありますが、スピーキングの良い練習になります。音声認識機能に関する詳しい説明は、ヘルプメニューを参照してください。
- 語学を学ぶ事は、楽器を練習するようなものです。時間をかけて何度も練習、反復し、身につけなくてはなりません。各レッスンでより多くの時間を費やす程、多くの事を学ぶことでしょう。しかし、楽器の練習と同じ様に、効率良く時間を使わなくてはなりません。学習をする時は常にそのセッションの目標や目的を設定して行うと良いでしょう。そうすることで、さらに集中した学習ができ、語学習得の長い道のりをより容易に乗り越えることができます。

語学学習の原則

このコースは語学の学習に重要な次の項目を念頭に構成されています。

一時記憶の活用：短い句を理解して繰り返すには、一時的に句を記憶することが必要です。文全体を記憶できるようになるまで短い句を何度もくり返し聞くことが重要です。

言葉の機能：ビデオを通して紹介されるストーリーや練習問題は、「言葉の機能」を学習する手助けとなります。「依頼」「提案」「辞退」等目的を達成する為の単語や表現、つまり「言葉の機能」をいかに上手く使えるかが、ビジネスを成功に導く鍵となります。

渦巻き学習：このコースでは、レッスンが変わり、違う話題になっても、前のレッスンで学習した「目的を達成する為の単語や表現」を違う言い回しで学習します。同じ「言葉の機能」を渦巻きのように何度も繰り返し学習しながら表現力や知識を拡大します。

理解力：文全体を理解するには、まず大まかな意味を理解しなくてはなりません。その為に、各レッスンで視覚的補助となるグラフィックが提供されている他に、英文を表示したり日本語訳を聞くことができます。また用語表を利用して、単語の意味や文法を更に詳しく調べることができます。

タスク・ベースト・ラーニング：課題に取り組みながら段階を追って学習すると、目的意識がはっきりするので集中力がつき、課題ができたという達成感が生まれます。各レッスンには、インタラクティブな課題がたくさん盛り込まれています。

文脈：言語は文脈の中で使われるものであり、文脈は使われる言葉に状況を提供するものです。従って語学教材で使われる文脈は、学習者自身の生活や、置かれている状況にあった適切なものでなければなりません。

実践への応用：語学学習を意味のあるものにするには、コース学習中に紹介された状況を自分なりに応用することが必要です。ファンクショニング・イン・ビジネスは、特定のビジネスに焦点を当てていますが、学習した言葉やコンセプトは、他の様々なビジネスのニーズや状況に置き換えて活用することができます。

協力

ビデオ制作	Haukom Associates, San Francisco
ビデオディレクター	Russ Glaser
テクニカルコーディネーション	Longman Group, U.K.
日本語適応	Sony Language Laboratories

このコースは、1987 Longman Group, U.K. から出版された教科書 *Functioning in Business* (P. Lance Knowles、Francis Bailey 共著) を基にした教材です。

本社：

DynEd International
www.dyned.com

日本支社：

Tel: (03) 3478-2448
Fax: (03) 3478-2598
www.dyned.com/jpn

ヨーロッパ支社：

DynEd Europe
Tel: 44-1844-208-495
E-mail: europe@dyned.com

Copyright © 1998-2003 DynEd International, Inc.

- 本製品の一部または全部を無断で複写、転載することを禁じます。
- 本製品の内容は、改善の為予告なしに変更することがあります。

QuickTime ɔと QuickTime ロゴは法的に使用許可を得た商標です。

Version 4.1